



株式会社三和金属

2023年度環境経営レポート

(対象期間: 2023年4月1日 ~ 2024年3月31日)



®環境省

エコアクション21
認証番号0010642



作成日 : 2024年6月1日

口ごあいさつ

今、資源枯渇が叫ばれる中、時代はまさに循環型社会の実現に向け、企業の技術革新と人々の意識変化が着実に進んでおります。その中で我々スクラップ業界が果たすべき役割は、リサイクル率向上と安定供給も含め非常に大きくなっています。これからも日本の鉄鋼業を陰ながら支え続けていくことで、未来にわたって安心して生活できる環境づくりに寄与したいと思います。

株式会社三和金属
代表取締役 三重 慶三

環 境 経 営 方 針

当社の経営理念である「私たちは金属資源のリサイクルを通じて「循環型社会」形成の一翼を担い、人々が未来にわたって安心して生活できる環境創りに寄与します。」を基本に、リサイクル原料の製造を通じて、継続的改善を図る中で、地球温暖化問題への取り組みや地域の環境活動に自主的・積極的に取り組みます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力、自動車燃料の脱炭素化を目指します。
3. 当社で発生する廃棄物の削減や再生利用に努めます。
4. 水使用量の削減に努めます。
5. グリーン購入やグリーン調達に努めます。
6. 金属類のリサイクルを通じて循環型社会に貢献します。



制定日： 2014年10月28日
改正日： 2023年5月1日
代表取締役 三重慶三

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社三和金属

代表取締役 三重 慶三

(2) 所在地

本 社 大阪府東大阪市衣摺5丁目4番5号
アッセンブリーセンター 大阪府東大阪市柏田本町18番30号
駐車場 大阪府東大阪市衣摺3丁目21番

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 水谷 亜弥 TEL : 06-6720-6536
担当者 水谷 亜弥

(4) 事業内容

金属リサイクル原料の仕入・加工・卸売、部品加工・組立

主要製品：鉄・ステンレス・アルミ等のスクラップ

金属屑業許可 大阪府公安委員会公認 第5031号

古物商許可 大阪府公安委員会公認 第622220145030号

計量証明事業許可 大阪府公認 第566号

(5) 事業の規模

製品出荷額 168 百万円

主要製品生産量 1,429 トン

	本社	アッセンブリーセンター	駐車場	合計
従業員（人）	6	4	0	10
延べ床面積（m ² ）	700	90	260	350

(6) 事業年度

4月1日～3月31日

(7) 再生事業の内容

創業 1970年4月1日

法人化 2014年4月1日

資本金 2,100万円

処理フロー 金属スクラップ受入 → 選別 → 圧縮 → 出荷
1,429t 1,429t

主要設備	数量
油圧ショベル	1台
自動圧縮切断機	2台
トラック	4台
トラックスケール	2台
X線分析計	1台

□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名： 株式会社三和金属

対象事業所： 本社

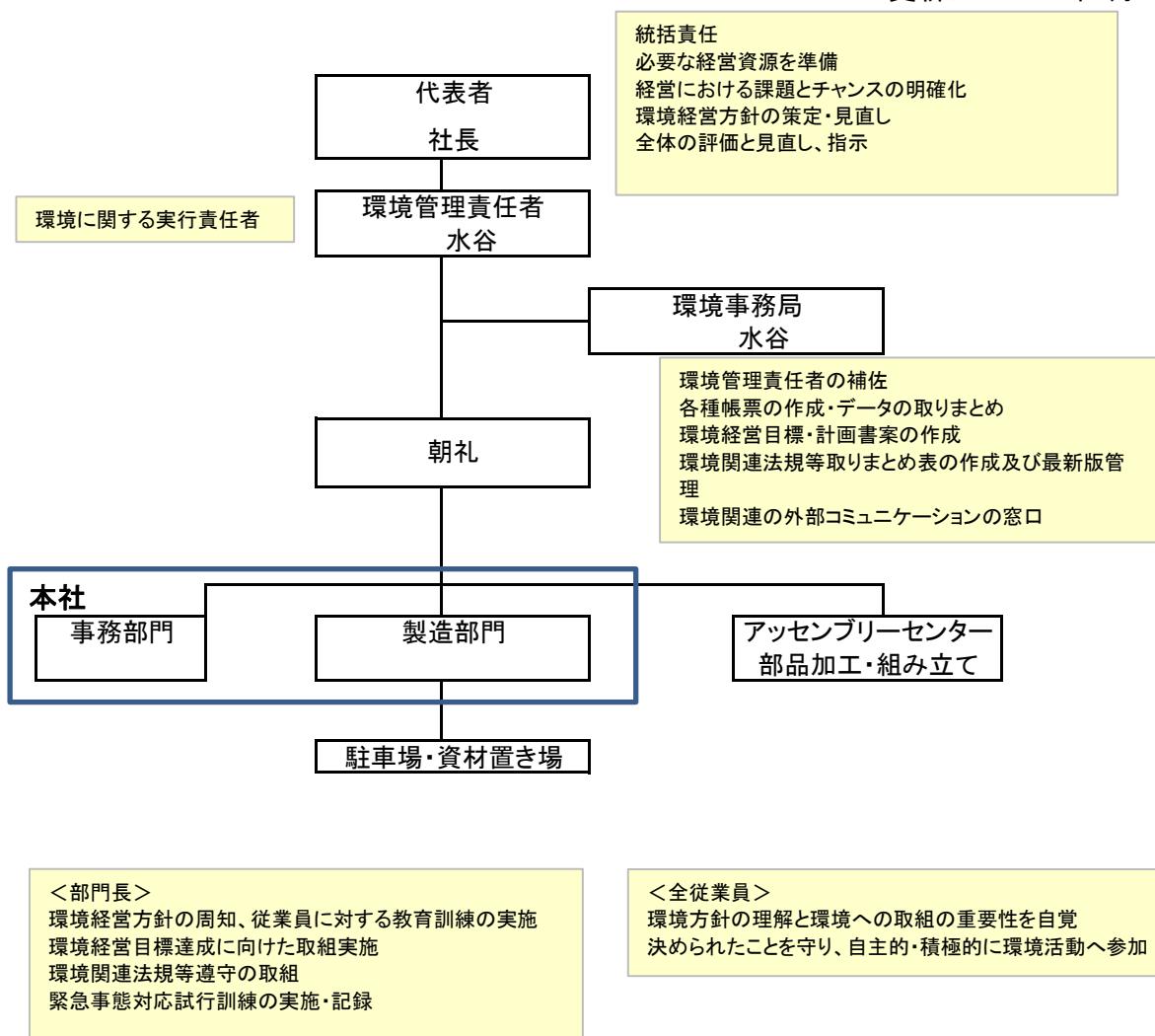
(全社認証範囲) アッセンブリーセンター

駐車場・資材置き場

活動： 金属リサイクル業及び金属部品の仕上げ・加工

□実施体制図及び役割・責任・権限表

更新日：2023年2月10日



X線成分分析計

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	48,620	56,795	36,551
廃棄物排出量	kg			
一般廃棄物排出量	kg	240	240	240
産業廃棄物排出量	kg	0	0	0
総排水量	m ³	217	193	129

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.311 kg-CO₂/kWh

※二酸化炭素排出量にはLPGを含みます。

※産業廃棄物は発生しておりません。

□環境経営目標及びその実績

項目	年 度	2022年度 (基準値)	2023年度		2024年度 (目標)	2025年度 (目標)
			(目標)	(実績)		
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年比	7,476	7,401 99%	5,707 76%	7,177 96%	7,102 95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂ 基準年比	49,247	48,755 99%	30,772 62%	44,322 90%	44,322 90%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	56,723	56,156	36,479	51,499	51,425
同上二酸化炭素排出量原単位	kg-CO ₂ /t	29.9	28.2	25.5	24.7	23.6
一般廃棄物の削減	kg 基準年比	240	240 100%	240 100%	240 100%	240 100%
水道水の削減	m ³ 基準年比	193	191 99%	129 67%	174 90%	174 90%
グリーン購入の推進		活動のみ	電気製品、事務用品、車両のグリーン購入の推進			
金属類のリサイクル 材料出荷量	トン 基準年比	1,898	1,993 105%	1,429 75%	2,088 110%	2,183 115%

※化学物質は製造では使用しておりません。

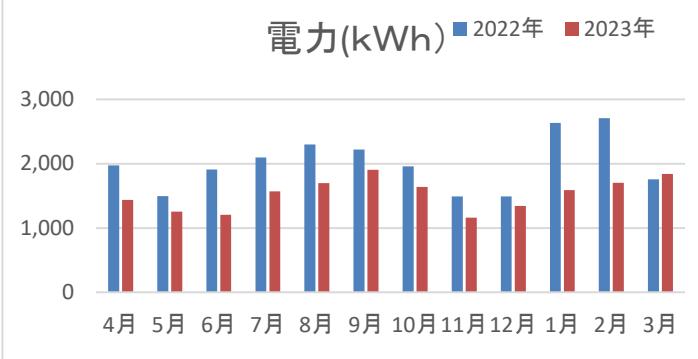
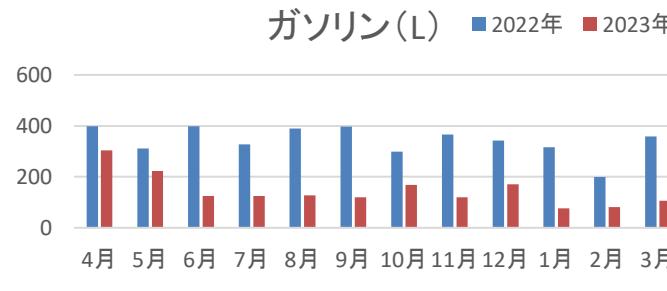
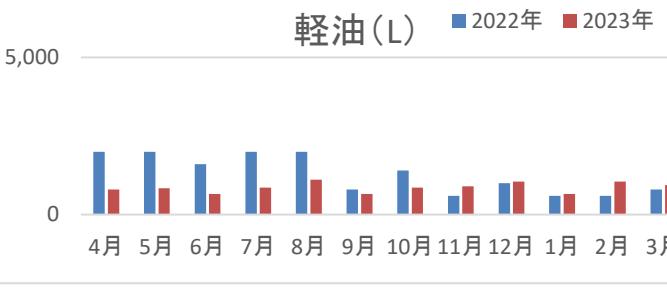
※LPGは少量のため目標に含みません。



□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標: ○達成 ×未達成

○よくできた △まあまあできた ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容																																																																														
電力による二酸化炭素削減  		 <table border="1"> <caption>電力(kWh)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>2022年 (kWh)</th> <th>2023年 (kWh)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>2,000</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>5月</td><td>1,500</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>6月</td><td>2,000</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>7月</td><td>2,100</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>8月</td><td>2,200</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>9月</td><td>2,100</td><td>1,800</td></tr> <tr><td>10月</td><td>1,900</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>11月</td><td>1,500</td><td>1,200</td></tr> <tr><td>12月</td><td>1,400</td><td>1,300</td></tr> <tr><td>1月</td><td>2,500</td><td>1,600</td></tr> <tr><td>2月</td><td>2,600</td><td>1,700</td></tr> <tr><td>3月</td><td>1,800</td><td>1,800</td></tr> </tbody> </table>	月	2022年 (kWh)	2023年 (kWh)	4月	2,000	1,500	5月	1,500	1,300	6月	2,000	1,200	7月	2,100	1,600	8月	2,200	1,700	9月	2,100	1,800	10月	1,900	1,600	11月	1,500	1,200	12月	1,400	1,300	1月	2,500	1,600	2月	2,600	1,700	3月	1,800	1,800																																							
月	2022年 (kWh)	2023年 (kWh)																																																																														
4月	2,000	1,500																																																																														
5月	1,500	1,300																																																																														
6月	2,000	1,200																																																																														
7月	2,100	1,600																																																																														
8月	2,200	1,700																																																																														
9月	2,100	1,800																																																																														
10月	1,900	1,600																																																																														
11月	1,500	1,200																																																																														
12月	1,400	1,300																																																																														
1月	2,500	1,600																																																																														
2月	2,600	1,700																																																																														
3月	1,800	1,800																																																																														
自動車燃料による二酸化炭素削減  		  <table border="1"> <caption>ガソリン(L)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>2022年 (L)</th> <th>2023年 (L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>400</td><td>300</td></tr> <tr><td>5月</td><td>300</td><td>200</td></tr> <tr><td>6月</td><td>400</td><td>150</td></tr> <tr><td>7月</td><td>300</td><td>150</td></tr> <tr><td>8月</td><td>400</td><td>150</td></tr> <tr><td>9月</td><td>400</td><td>100</td></tr> <tr><td>10月</td><td>300</td><td>150</td></tr> <tr><td>11月</td><td>350</td><td>100</td></tr> <tr><td>12月</td><td>300</td><td>100</td></tr> <tr><td>1月</td><td>300</td><td>50</td></tr> <tr><td>2月</td><td>200</td><td>50</td></tr> <tr><td>3月</td><td>350</td><td>50</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>軽油(L)</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>2022年 (L)</th> <th>2023年 (L)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>4月</td><td>300</td><td>50</td></tr> <tr><td>5月</td><td>350</td><td>50</td></tr> <tr><td>6月</td><td>200</td><td>50</td></tr> <tr><td>7月</td><td>300</td><td>50</td></tr> <tr><td>8月</td><td>350</td><td>50</td></tr> <tr><td>9月</td><td>100</td><td>50</td></tr> <tr><td>10月</td><td>150</td><td>50</td></tr> <tr><td>11月</td><td>100</td><td>50</td></tr> <tr><td>12月</td><td>100</td><td>50</td></tr> <tr><td>1月</td><td>100</td><td>50</td></tr> <tr><td>2月</td><td>100</td><td>50</td></tr> <tr><td>3月</td><td>100</td><td>50</td></tr> </tbody> </table>	月	2022年 (L)	2023年 (L)	4月	400	300	5月	300	200	6月	400	150	7月	300	150	8月	400	150	9月	400	100	10月	300	150	11月	350	100	12月	300	100	1月	300	50	2月	200	50	3月	350	50	月	2022年 (L)	2023年 (L)	4月	300	50	5月	350	50	6月	200	50	7月	300	50	8月	350	50	9月	100	50	10月	150	50	11月	100	50	12月	100	50	1月	100	50	2月	100	50	3月	100	50
月	2022年 (L)	2023年 (L)																																																																														
4月	400	300																																																																														
5月	300	200																																																																														
6月	400	150																																																																														
7月	300	150																																																																														
8月	400	150																																																																														
9月	400	100																																																																														
10月	300	150																																																																														
11月	350	100																																																																														
12月	300	100																																																																														
1月	300	50																																																																														
2月	200	50																																																																														
3月	350	50																																																																														
月	2022年 (L)	2023年 (L)																																																																														
4月	300	50																																																																														
5月	350	50																																																																														
6月	200	50																																																																														
7月	300	50																																																																														
8月	350	50																																																																														
9月	100	50																																																																														
10月	150	50																																																																														
11月	100	50																																																																														
12月	100	50																																																																														
1月	100	50																																																																														
2月	100	50																																																																														
3月	100	50																																																																														
数値目標	○	1年後の後半に省エネへの取り組みが浸透したこともあり、基準年度と比べて、5%削減した。原単位でみても基準年度の3.98に対し3.94と改善となっている。次年度も引き続き休憩時間の消灯、使用していない時の電源のOFFに加えて、作業の効率化により、作業時間の短縮に取り組んでいく。																																																																														
数値目標	○	基準年度に比べて、トラックの台数も増え、本社での引取先及び納品先が増加したこともあり、38%の増加となった。次年度は、積載効率を考え配送の効率化に取り組んでいく。																																																																														

一般廃棄物の削減

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任



数値目標	○	取り組みも浸透し前年度の数値を維持できている。
・裏紙使用を徹底する	○	
・帳票の見直し（3枚つづり→2枚つづりへ）	○	次年度は、できるだけ分別して再使用やリサイクルを図っていく。

水道水の削減

6 安全な水とトイレを世界中に



数値目標	○	人數の増加もあり、水道使用が多くなったが後半の節水活動の浸透により、前年度より12%削減となった。次年度も、継続して節水に努めていく。
・日常時の節水励行	○	

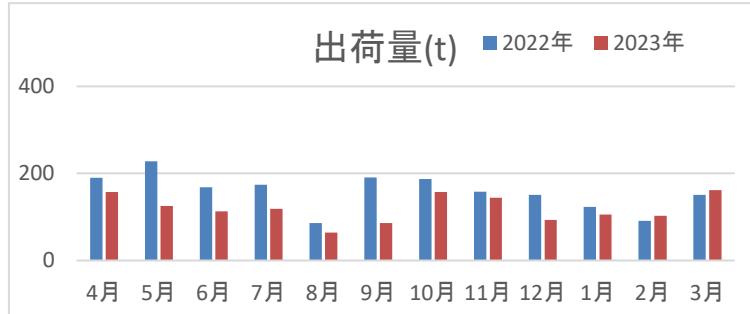
グリーン購入の推進

12 つくる責任つかう責任



・省エネ性能の高い電気製品の購入	△	事務所の改裝を行った際に、入口のガラスは二層ガラスの採用、LED電気の採用等グリーン購入を行った。今後も電気製品を買い替える時は、省エネマークを意識して選択するようとする。
・燃費のよい自動車の採用	○	

金属類のリサイクル材料出荷量



・収集先の拡大（営業強化）	○	取引先からの信頼や新規取引先の成果もあり、順調に出荷量も増加していたが、後半は取引先の在庫調整もあり、最終的には前年度の出荷額を維持することができなかった。次年度は、出荷額増に備えて生産の効率化を図っていく。
・切断加工の効率化	△	
・人材確保（就労支援研修生の受け入れ）	○	

□アッセンブリセンターの紹介

ASSY部門 アッセンブリセンター



□本社事務所の改修



入口ドアのガラスは二層化
照明はLED
椅子とテーブルは木質

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

廃棄物処理法	一般廃棄物
騒音規制法・振動規制法	剪断機（シャーリング）、切断機（砥石）、油圧プレス
自動車NOx・PM法	トラック5台
フロン排出抑制法	スポットクーラー1台、業務用エアコン1台
消防法	軽油200L、アセチレンガス

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘、訴訟は過去3年間ありませんでした。

□環境に関する外部からの苦情・要請等

環境に関する外部からの苦情や要請等はありませんでした。

□緊急事態対応訓練

訓練実施日：2023年6月20日 午後1時～1時30分

内容：消火器の確認 消火器の取扱い訓練

訓練の状況：



消火器の位置確認



消火器取扱い訓練

評価：
・消火器の場所の再認識ができた。
・消火器は使用期限内であることを確認した。

手順書の変更：必要なし

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年5月31日

	課題	チャンス
内部	教育訓練 社内ルールの確立	在庫調整が可能で安定供給が可能 品質に信頼性がある 就労支援研究生の雇用
外部	仕入れ価格と販売価格の変動大きい 業務量の変動大きい	リサイクルサプライチェーンの中にある 半導体産業の盛況

【今回の評価結果と今後の経営視点】

①エコアクション取得の目的・近年金属資源のリサイクルの品質向上が世界的な課題となっております。その理由としてリサイクル時の再ゴミ発生、つまり金属取り出し及び除去の際のプラスチックなどの金属以外の処理が膨大になり、またおのずとして樹脂や断熱材などの分別分解の困難な物質の処理が世界各国の環境破壊につながるとの見解から、日本から対輸出、特に中国・韓国含む東南アジアなどの国へのリサイクル資源の輸出に関してのトラブルがあとをたちません。この問題を解決していくためにはリサイクルに対しての正しい知識、つまり国全体が環境国家への成長・変貌を成し遂げる確固たる意識が必要となり、これら国家ベースの意識改革の先頭に我々リサイクル業界が置かれているという現状があります。まず相手を知る前に自らを知る、業界全体そして会社としてどれくらいのリサイクル率や分別回収、ならびに金属の再溶解へ道付けをできているかの数値を把握すること。この部分が不可欠な取り組みとなってきております。今後はこれら数値の全社を挙げての認識から意識浸透、そして各個人の取り組み、お客様への波及、そういう地道な活動を通して、リサイクルが世界を未来永劫人々の生活の一助となり続けるよう、活動推進に力を注いでいかなければなりません。

②今年度はリサイクル出荷量が75%で目標達成となりませんでしたが、来年以降半導体業界の盛況により回収数量も高められると考えています。また、アッセンブリセンターでは引き続き就労支援など社会貢献も含めた活動が定着してきました。環境負荷についてはアッセンブリーセンターを含めた全社でEA21に取り組み脱炭素社会・循環型社会の構築に貢献するよう努力したいと考えています。

環境方針： 変更なし
環境目標： 変更なし
実施体制： 変更なし